

第22回 豊島区ジュニア陸上競技大会
競技注意事項

○ 本競技会は2014年度日本陸上競技連盟規則ならびに本大会申し合わせ事項によって実施する。

1 招集について

- (1) 競技者招集は、スタート地点およびピットにて行う。
- (2) 招集完了時刻は、競技開始時刻を基準として次の通りである。

トラック	競技開始20分前に開始し、10分前に完了する
フィールド	競技開始30分前に開始し、20分前に完了する
※ リレー	4人そろってスタート地点に20分前までに集合する

この時刻に遅れた者は、競技に参加しないものとして取り扱うので注意すること。

- (3) リレーのオーダー用紙

オーダー用紙はプログラム大会本部に用意してあるので、オーダーを記入し招集完了時刻の1時間前までに大会本部に提出する。

2 ナンバーカード

- (1) ナンバーカード(番号布) は配当番号で各自用意すること。24cm×20cmの布にはっきりと数字を書き、男子は黒文字、女子は赤文字とする
- (2) ナンバーカードは胸・背の四隅をしっかりと止める。跳躍競技に出場する競技者は胸・背のどちらか片方でもよい。
- (3) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバーカードをランニングパンツの右側上部、やや後ろに付ける。リレー競技の場合は第4走者のみ付ける。なお、腰ナンバーカードは競技終了の都度、フィニッシュ後ただちに所定の場所に返却すること。

3 競技について

- (1) スパイクシューズ
本競技場は全天候舗装のため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳は12mm以下とする。
- (2) トラック競技のレーン、フィールド競技の試技順はプログラムに示した順とする。
- (3) トラック競技で棄権者があるときは、そのレーンはあける。
- (4) セパレートレーンを使用する競技では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーンを走ること。
- (5) スタートの合図は英語とする。(「On Your Marks」「Set」)
- (6) 各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者はすべて失格とする。
- (7) リレー競技のマーカの使用は1ヶ所とする。マーカは各チームで用意し、レース終了後必ず自チームで処理すること。

(8) 競技(練習) で使用する用器具は競技場備え付けのものに限る。

(9) ハードルは次の規格で行う。

種目	高さ	スタート～第1ハードル	インターバル	最終ハードル～フィニッシュ	個数
男子 110mH	91.4cm	13m72	9m14	14m02	10 台
女子 100mH	76.2cm	13m00	8m00	15m00	10 台

(10) 走高跳の最初のバーの高さは、出場する競技者との協議によりフィールド審判長が決定する。

(11) 走高跳で使用できるマークは1人2個まで。使用するテープは各自用意する。

(12) 投てき用器具の重量は次の通りとする。

種目	重量
男子砲丸投	5.000kg
女子砲丸投	2.720kg

(13) プログラムの訂正は、9 時 30 分まで、または競技開始の 1 時間前までに大会本部に申し出る。

6 表彰 各種目の総合結果第 1 位の選手に記念品を授与する。(リレーは 4 名分) 記録確定後に大会本部まで取りに来ること。

各種目 3 位までに入賞した選手およびチームに賞状を授与する。

最優秀選手男女各 1 名に記念品を授与する。最優秀選手は閉会式で発表する。

ただし、中学 3 年生(卒業生) はオープン参加扱いとし、総合順位・大会記録に含めない。

7 記録証 記録証を参加全員に配布する。競技終了後に代表者が表彰係まで取りに来ること。

8 競技場使用上の注意

(1) フィールド内の芝は使用禁止となっているので入らないこと。

(2) 場内における練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。

(3) 選手の負傷については応急処置のみを主催者で行うが、それ以後の責任は負わない。

(4) 貴重品や衣類の管理は各自で行い盗難防止につとめること。

(5) ごみ類は必ず持ち帰ること。競技場内の整備につとめ、帰るときは必ず清掃をすること。

(6) 主催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を順守し個人情報を取扱う。

(7) 大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。

(8) ほかに不明の点は、大会本部(総務) まで問い合わせること。